



no.357

玉川まちづくりハウスは、住民主体のまちづくりをお手伝いする特定非営利活動法人（NPO法人）です。

ケアするコミュニティ

ケアマネージャーのお仕事 在宅ケアを語る会から玉田シニアサロン

「在宅ケアを語る会」は、介護保険が始まることを契機に在宅ケアに関わる多職種の医療福祉従事者の情報交換を目的として始まった地域活動組織です。

25年が経ち、現在は隔月で定例会と称した交流会をデイ・ホーム玉川田園調布の1階で開催しています。

2025年5月のテーマはケアマネージャー（以下ケアマネ）の手に余るような困難事例をベースに、ベテランのケアマネージャーからの報告と意見交換を行なわれました。

地域のなかにいる、一人では生きていけない高齢者に対しての生活支援が、どのように行われているのかご存じの方は少ないと思います。

まず最初に地域包括支援センター（あんしんすこやかセンター：以下「あんすこ」）が地域住民のネットワークからの情報も得て対象者を把握します。「あんすこ」は対象者との相性も考慮し対応可能なケアマネを紹介し、ケアマネは必要な医療、介護等のサービスプランを、介護保険サービスに基づいて立案し実行チームを組織します。本人が自立して生きていくための生活リズムを確立するための支援を行うわけです。認知症の場合などは後見人の助けも必要になることもあるそうです。

今回二つの事例（どちらも身寄りのない一人暮らし、物が捨てられない方、人づきあいが困難な方）が報告されましたが、ただでさえ、ケアマネが不足しているという現状では、引き受けてくれるケアマネを探すのがまず大変。報告者のKさんは、決して断らない、困難事例に果敢に取り組む、「愛あるケアマネ」の代表のような人です。

在宅ケアを語る会の後、玉田シニアサロンのテーマとして、Kさんを再び講師にとお願いしたのは、これらの事例紹介を通して「ケアするコミュニティ」とは何かについて地域住民に知っていただき、問題提起したかったからです。

質疑応答の中でKさんがおっしゃった言葉が頭に残りました。

「施設に入所することは、介護する家族にとっては最善の解だが、決して本人にとって必ずしも幸せなことではない。」

これからの時代、施設の利用は本人を含めた家族全体にとって最善と思って受け入れるひとつの選択肢だと指摘されたことが頭に残りました。

さて、ハウスが目標としたい「ケアするコミュニティ」についてです。何があれば「ケアするコミュニティ」と呼ぶことができるのか。

問題を抱えている人のことを気にかけている人がコミュニティの中にいること。子育て中の人、高齢者、認知症の人、日常生活に困っている人のことを家族以外の誰かが気にかけている人がいるまちが「ケアするコミュニティ」の基本的な条件ではないか、加えて誰かが誰かを気にかけていることを周りの人が知っているということもまた「ケアするコミュニティ」にとっては重要なことではないかと思えます。課題解決とは問題が見えなくなるのではなく、問題をより多くの人で受け入れることではないかと思うからです。

コロナ禍、医療従事者への感謝を伝えるニュースがいくつも伝えられましたが、ケアする人とケアされる人との関係は、現実には家族と専門家の問題かもしれません。しかしケアする人とその人を気づかう他者との関係はコミュニティの問題といえるのではないのでしょうか。

こうした地域の暮らしの中で積み重なっていく細やかな記憶を蓄積し、共有化していくしくみが「ケアするコミュニティ」の基盤になればならないのだと考えています。

記憶の共有については、「コミュニティ・ヒストリー」として改めて考えて見たいと思います。

伊藤雅春

第85回 ここからカフェ九品仏 「東京大空襲」を観る会

1945年3月10日の東京大空襲を体験した31人の証言と膨大な記録をもとに、今年2025年製作されたドキュメンタリー映画です。詳しくは2面をご覧ください。

日時：2025年8月23日（土）
13:30～15:30

講師：証言者のお一人 今野晴雄さん

会場：九品仏複合施設 2階

世田谷区奥沢 7-35-4

参加費：300円 ※要予約

申込・問合せ：090-3961-8514

（ここからカフェ九品仏 湯澤）

お隣さまお茶会
8月はお休みいたします。

第113回 お隣さまお茶会

朗読

♡ 恋慕の裏側 ♡

齋藤雅美さんとそのグループ

日時：2025年9月14日（月）
13:30～15:30

会場：space えんがわ inn

玉川田園調布 2-12-6

参加費：500円 ※要予約

申込・問合せ 03-3721-8699

玉川まちづくりハウス

玉田シニアサロン
8月はお休みいたします。

ハウスの会員数

特別正会員 5名
正会員 28名
ニュース会員 58名

8月号にかかわったひと

伊藤雅春 染野和夫
高橋阿貴 小西玲子
柴田希美絵 池田麻未
昆野敬子

7

ハウススケジュール&フレイバック

予定・詳細はHP <https://tamamati.com/>にてご確認ください

- 3日（木） 楽多の会定例会 / デイホーム玉川田園調布
- 5日（土） ここからカフェ九品仏 / 九品仏複合施設 2階
- 10日（木） 住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所
- 11日（金） 玉川まちづくりハウス定例委員会 / スペースえんがわ inn
- 14日（月） お隣さまお茶会 / スペースえんがわ inn
- 16日（水） 街角保健室 / スペースえんがわ inn
- 20日（日） タマデン marché / アビターレ前
- 24日（木） 住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所
住宅相談ネットワーク会議 / 世田谷区役所

8

ハウスカレンダー

- 13日（水） 街角保健室 13:30～15:30 スペースえんがわ inn
- 23日（土） ここからカフェ九品仏 13:30～15:30 九品仏複合施設 2階
- 28日（木） 住宅まちづくり総合相談 13:30～15:30 玉川総合支所

ことのほかの猛暑で「不要不急の外出は控えて」「冷房は適切に使用」「こまめな水分補給」は夏の決まり文句になった感があります。困りました。

この夏、どんな風に過ごしましょうか？

先日、東京都写真美術館、広島市民や報道機関のカメラマンによる約160点もの写真などを展示した「被爆80年 企画展 ヒロシマ1945」を見に行きました。

毎年この時期になると「戦後〇年…」というニュースが流れ、この時期ばかり…と思わなくもないのですが、数々の貴重な記録写真が残っているのは、終戦直後、陸軍から進駐軍の到着に備えて機密書類とともに写真を焼却せよとの命令があったり、進駐軍からも報道各社に対してもネガを接收されそうになったりしたにもかかわらず、「このような記録は、私たちの写真が永遠に最後であるように」という強い想いのもと散逸を免れたということを知り、こういう時期だからこそもう一度、想いを新たにできてよかったと、思いました。

お時間あったらぜひお出かけください。

美術館は涼しいです！

東京都写真美術館

目黒区三田 1-13-3 03-3280-0099

美術館は涼しいです！



